



西南小の風

だれかのために、じぶんのために、いっしょうけんめい

「愛の往還」は、六年生が地域の方をお招きしての感謝の会でした。合奏を披露したり、一緒に「合志市ふるさとカルタ」をしたりして楽しみました。六年間見守っていたりしてお世話になったご恩は、この短時間では返せないほどですが、進学後も引き続きこの地域で育てていただくことには変わりありません。この先も年々成長した姿をお見せすることが何よりの感謝だということを、六年生には伝えていきます。後日、何人もの方々に「お招きありがとうございました。ありがとうございました」と感謝のお言葉をいただきました。西南小校区の地域の温かさをとても感じます。

六日（水）は、ひまわり学級の卒業生を祝う会でした。四人の卒業生を祝うために、ひまわり各学級でダンスやクイズなど様々な出し物を準備していました。見ている六年生も、披露する在校生も皆ニコニコで、その様子が微笑ましいといったらありやしません。卒業生に送る動画の中にこんな言葉がありました。

「ご卒業おめでとうございます。先輩には本当に感謝しています。ゲームなど楽しい話もしてもらいました。また、先輩に鍛えられたおかげで、みんな根性がつきました。・・・」

何気ないメッセージかもしれません。しかし、動画の中で語る五年生の表情や声からジンと伝わるものがありました。動画の後の本人たちのはにかんだ様子を見ながら、日頃言えないメッセージを、実際に口にして伝えることの良さを改めて感じました。

上の動画は、本校HP上で公開中です。

愛の往還

令和6年3月8日 第45号

「愛の往還」は、韓国ドラマではありません。互いの愛情が、行きかう様子です。今週は卒業生に関する行事が連日催されました。

クイズ！ 卒業生の4人はA・B・Cのどれでしょう？



カルタで盛り上がる！



そして、七日（木）は、全校での六年生を送る会です。各学年から六年生へメッセージと出し物をオンラインで披露しました。各学年出し物動画からは、子どもたちの思いや工夫が伝わってきました。五年生の「おめでとう」の人文字は、キャットキャ言いながら、体育館フロアに文字を作って伏せる様子が微笑ましく、最後は「う」がないことに気付いて、わずかに三人で作るオチまでついています。（各学年で大爆笑）

微笑ましい在校生の出し物動画の後、お返しとばかりの六年生の合奏と組体操の披露です。これだけは動画ではなく体育館での生中継でした。残念ながら学級閉鎖中の四組がいませんが、そんな中でもすばらしい演奏でした。十三日（水）の朝の時間に、改めて六年全員で演奏予定です。運動会の凛々しい姿を思い出しました。しかも、あの時よりさらに一回り成長した顔つきでした。